

超低汚染・高耐久NAD型特殊ポリウレタン樹脂塗料

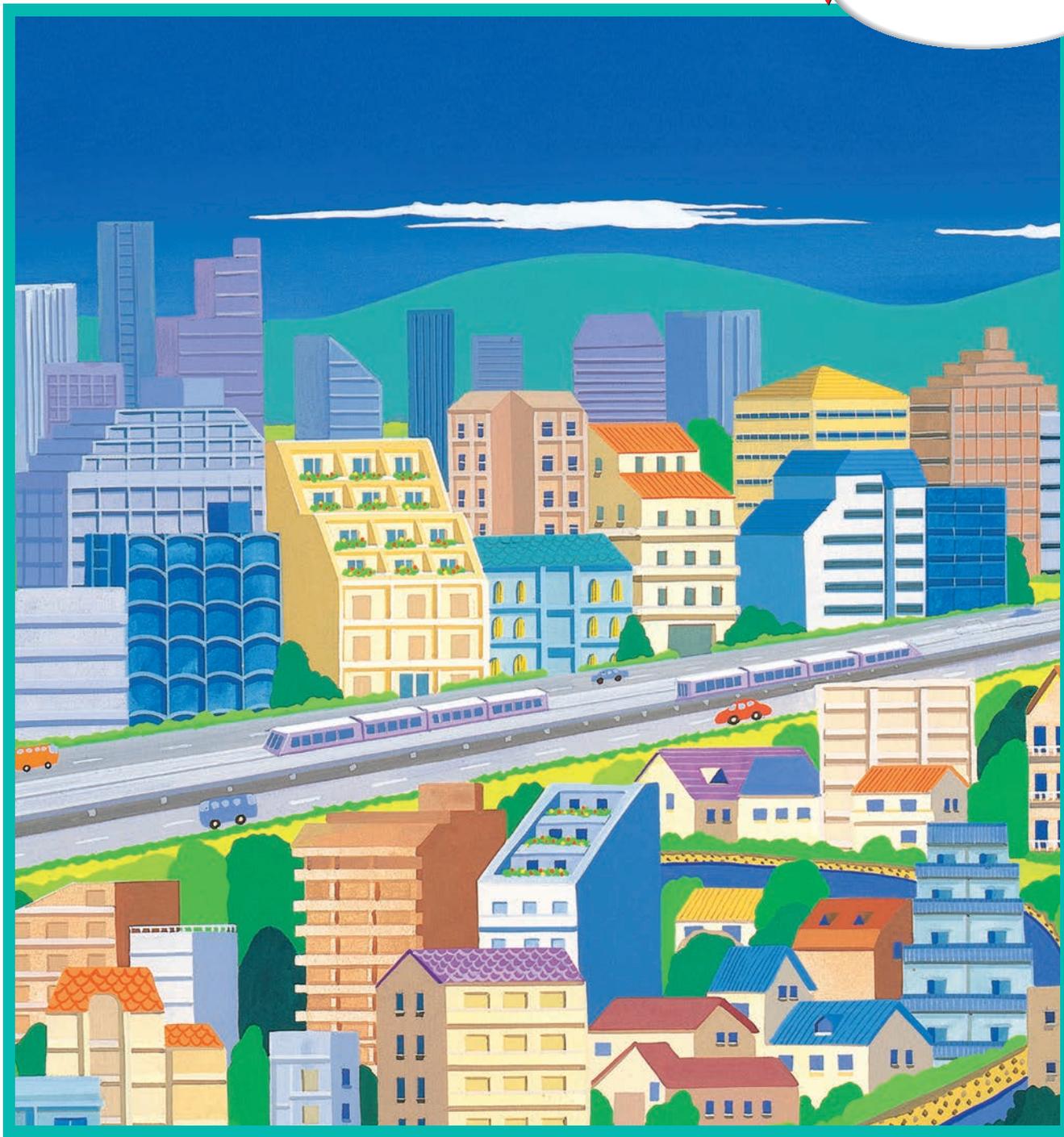
グリーンマイルドウレタン[®]

CLEAN MILD URETHANE

硬質・弾性

ホルムアルデヒド
放散等級 F☆☆☆☆

超低汚染・高耐久



当社独自のセラミック複合技術で優れた耐久性を実現。
二液タイプだから維持できるこの性能差をご確認ください。
汎用の溶剤形塗料と異なり、強溶剤を使用しない、
弱溶剤タイプのため、臭気も少なく、大気汚染低減にも役立ちます。



特長

超低汚染性

セラミック複合の特殊技術で、従来にない超低汚染を実現しました。

高耐久性

優れた耐久性を実現する性能を示します。

防かび・防藻性

特殊設計により、微生物汚染を防ぎます。

透湿性

透湿性塗膜は内部結露の防止に役立ちます。

幅広い下地適用性

弱溶剤で構成されているため、旧塗膜の種類を問わず、優れた密着性を示します。

環境に優しい

溶剤形（強溶剤）塗料に比べて臭気も少なく、作業環境の改善に役立ちます。

様々な下地に使用できる、幅広い下地適用性があるため、無駄がなく、有効に活用できます。なお、低汚染機能は外部で雨が掛かる部位で、特に発揮されます。本機能の発揮条件については最終頁をご参照ください。

使用できる旧塗膜の種類

部位	旧塗膜の種類	対応塗料	
一般外壁	アクリルリシン	鉄部	合成樹脂調合ペイント
	アクリルスキン	鉄部	フタル酸樹脂系
	アクリルタイル	鉄部	エポキシ樹脂系
	エポキシタイルRE	鉄部	ポリウレタン樹脂系
	エポキシタイルRS	鉄部	塩化ビニル樹脂系
	複層弾性塗材	鉄部	塩化ゴム系
	単層弾性塗材	鉄部	ポリエステル樹脂系
上塗り	アクリルスタッコ	鉄部	メラミンアルキド樹脂系
	セメントスタッコ	木部	合成樹脂調合ペイント
	アクリル樹脂系	木部	フタル酸樹脂系
	ポリウレタン樹脂系	FRP	ポリウレタン樹脂系
	アクリルシリコン樹脂系		
	塩化ビニル樹脂系		
	アクリル樹脂エマルジョン系		
非水系塗料（ポリウレタン樹脂系）			

※1. 活膜は目荒しが必要です。

※2. 旧塗膜が弱溶剤で可溶するタイプのものは、上塗り、上塗りを施工後、リフティングを生じる危険性がありますので、避けてください。

製品一覧表と可使用時間

製品名	荷姿	可使用時間(23℃)
★クリーンマイルドウレタン	主剤:13.5kg石油缶、3.6kg缶 硬化剤:1.5kg缶、0.4kg缶(標準塗坪42~68㎡/15kgセット、11~18㎡/4kgセット)	5時間
★弾性クリーンマイルドウレタン	主剤:13.5kg石油缶、3.6kg缶 硬化剤:2.5kg缶、0.67kg缶(標準塗坪45~72㎡/16kgセット、12~19㎡/4.27kgセット)	5時間
レナラック主材	20kg石油缶(標準塗坪:11~15㎡/缶)	—
レナフレンド主材	20kg石油缶(標準塗坪:7~9㎡/缶)	—
★マイルドシーラー-EPO(クイヤ、ホワイト)	主剤:10.5kg石油缶 硬化剤:3.5kg缶(標準塗坪70~140㎡/14kgセット)	5時間
水性ミラクシーラーエコ(クイヤ、ホワイト)	15kg石油缶(標準塗坪:115~150㎡/缶)	—
★SK#1000プライマー	主剤:16kg石油缶、4kg缶 硬化剤:4kg缶、1kg缶(標準塗坪117~142㎡/20kgセット、29~35㎡/5kgセット)	5時間
★SKマイルドポーセイ	主剤:12.8kg石油缶、3.2kg缶 硬化剤:3.2kg缶、0.8kg缶(標準塗坪94~114㎡/16kgセット、23~28㎡/4kgセット)	5時間
水性ソフトサーフSG	16kg石油缶(標準塗坪:10~53㎡/缶)	—
水性弾性サーフエポ	16kg石油缶(標準塗坪:6~7㎡/缶)※1	—
★SK木部下塗材	16kg石油缶、4kg缶(標準塗坪:80~123㎡/缶、20~30㎡/缶)	—
★SK#1000プライマーシンナー	16ℓ石油缶	—
★塗料用シンナーA	16ℓ石油缶	—

※1 標準塗坪の数値は高防水仕上げ仕様を行った場合です。

※2 上記の標準塗坪は一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

【クリーンマイルドウレタン】【マイルドシーラー-EPO】【マイルド/MILD】は、エスケー化研(株)の登録商標です。

危険情報と安全対策

製品の取り扱いについては、それぞれの安全データシート(SDS)に従ってください。特に、★印のついている製品は溶剤形のため、下記の点にご注意ください。

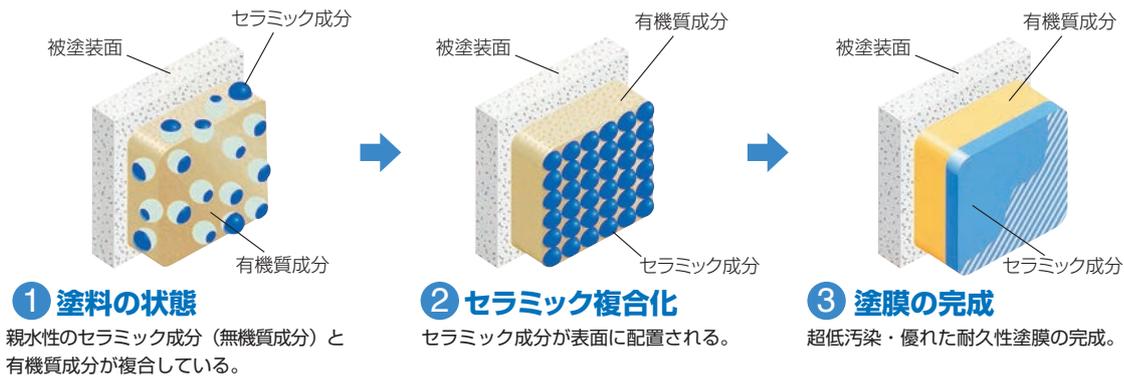
- 引火性の液体のため、火気厳禁です。
- 有機溶剤中毒のおそれがあるため、換気に注意し、防毒マスクまたは、送気マスクを使用するなどの安全対策を行ってください。
- 施工においては、溶剤成分が室内に流入しないように十分注意してください。

※ 屋内作業等、使用環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。詳しくは別途、施工仕様書等をご確認ください。

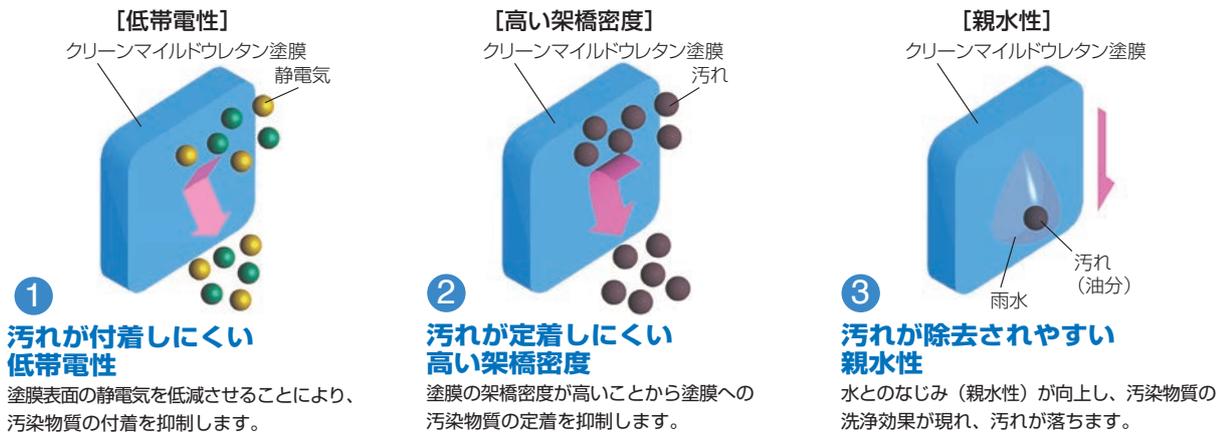
施工後の注意

本製品には揮発性の化学物質が含まれております。塗装直後の引渡し等において、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。

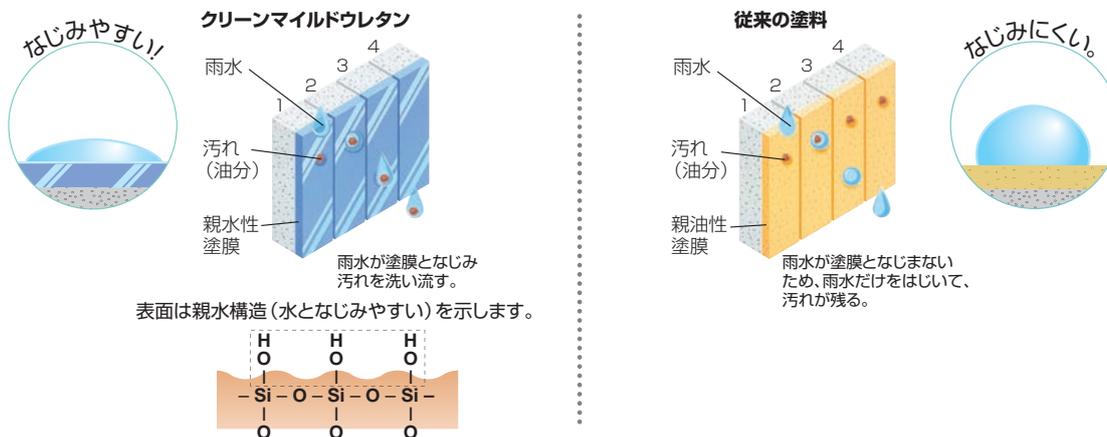
独自のセラミック複合技術



トリプル効果で超低汚染性をいかに発揮



親水機構により、汚れが流れ落ちる



用途

一般内外壁、建築構造物の乾式パネル、各種金属部材など

- ※ JIS K 5658 建築用耐候性上塗り塗料を使用する場合には、別途クリーンマイルドCRシリーズのパンフレットをご参照ください。
- ※ JIS K 5659 鋼構造物用耐候性塗料を使用する場合には、別途クリーンマイルドSTシリーズのパンフレットをご参照ください。

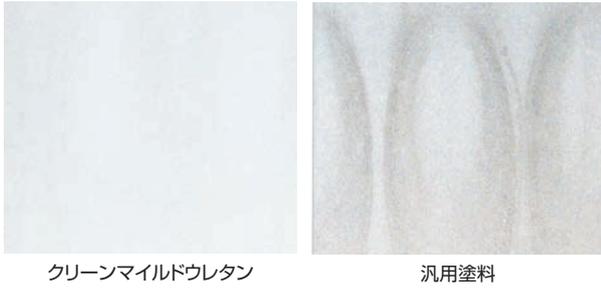
適用下地

- コンクリート、セメントモルタル、ALCパネル、スレート板、押出成形セメント板、サイディングボード、各種旧塗膜（活膜）など
- 鉄部、亜鉛めっき鋼、アルミニウム、ステンレスなどの金属

- 注1) 事前にクロスカット試験等で付着強度を確認してください。
- 注2) 旧塗膜の状態や種類によって付着力が得られなかったり、溶解することがあります。事前に試験塗りをを行い、付着力や溶解性の確認を行ってください。
- 注3) 劣化状況に応じて適正な表面処理が必要です。

6ヶ月暴露後の表面状態（雨筋汚染試験）

クリーンマイルドウレタンは塗装初期とほとんど変わらない表面状態を維持しています。

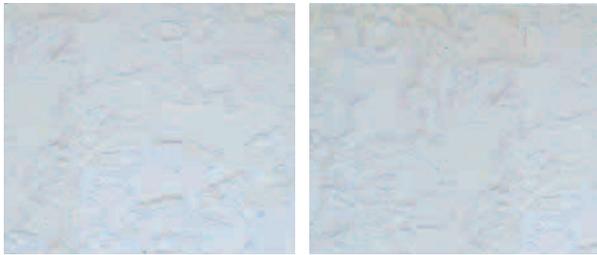


クリーンマイルドウレタン

汎用塗料

低帯電性

低帯電性により、雨のかからない所でも、汎用塗材と比較して、汚れがつきにくくなっています。

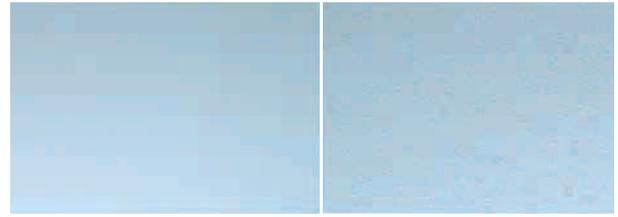


クリーンマイルドウレタン

汎用塗料

親水性

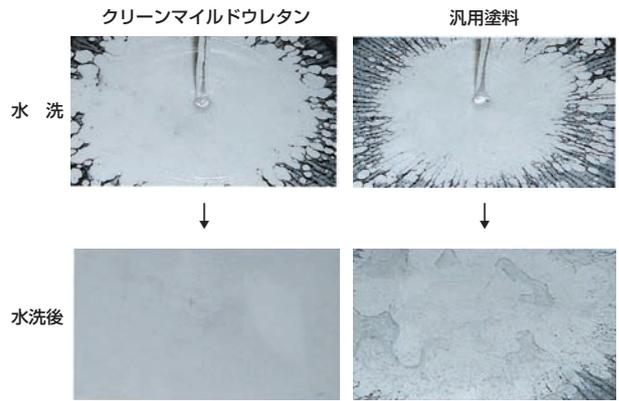
汎用塗料は水をはじきますが、クリーンマイルドウレタンは水になじむ性能があります。



クリーンマイルドウレタン

汎用塗料

表面に油を塗付し、水で洗い流しました。汎用の塗膜では油が残りますが、親水性のクリーンマイルドウレタンはほとんど油が残りません。



水 洗

水洗後

性能試験成績表

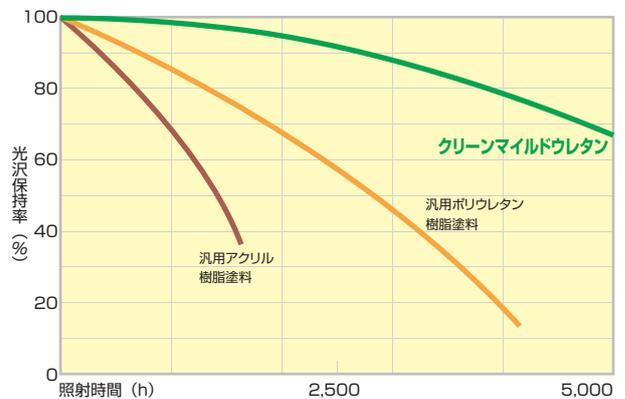
クリーンマイルドウレタン®

JIS A 6909 建築用仕上塗材複層塗材E耐候形1種 による物性結果(住材レナック上塗材:クリーンマイルドウレタン)

試験項目	結果	品質
低温安定性	合格	塊がなく、組成物の分離・凝集がない。
初期乾燥によるひび割れ抵抗性	合格	ひび割れがない。
付着強さ N/mm ²	標準状態	0.9 0.7以上
	浸水後	0.8 0.5以上
温冷繰返し	合格	試験体の表面に、ひび割れ、剥がれ及び膨れがなく、かつ、著しい変色及び光沢低下がない。
透水性 B 法 ml	0.0	0.5以下
耐衝撃性	合格	ひび割れ、剥がれ及び著しい変形がない。
耐候性 A 法	合格	ひび割れ及び剥がれがなく、変色の程度はグレースケール3号以上とする。
耐候性 B 法	合格	照射時間2500時間で、塗膜にひび割れ、剥がれ及び膨れがなく、光沢保持率は80%以上で、変色の程度がグレースケール3号以上であり、白亜化の等級は1以下とする。

この試験結果は、艶有りのものです。

促進耐候性試験(キセノンランプ)による試験



新規下地 / 施工仕様例

●内外壁、平滑仕上げ

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間(hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> ● 下地はよく乾燥させ、含水率10%以下・pH10以下としてください。 ● 付着物は完全に除去し、傷・不陸・目違いなどは補修してください。 							—
1 下塗り	マイルドシーラー-EPOクリヤー 主 剤	100	0.10~0.20	1~2	3以上	3以上	7日以内	—
	マイルドシーラー-EPO 硬化剤	33.3						
2 上塗り	クリーンマイルドウレタン 主 剤	100	0.25~0.30	2	3以上	7日以内	—	24以上
	クリーンマイルドウレタン 硬化剤	11.1						
	塗料用シンナーA	※14 0~20	—	—	—	—	—	

●内外壁、複層塗材E仕上げ(硬質)

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間(hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> ● 下地はよく乾燥させ、含水率10%以下・pH10以下としてください。 ● 付着物は完全に除去し、傷・不陸・目違いなどは補修してください。 							—
1 下塗り	マイルドシーラー-EPOクリヤー 主 剤	100	0.10~0.20	1~2	3以上	3以上	7日以内	—
	マイルドシーラー-EPO 硬化剤	33.3						
2 主材塗り	レナラック主材	100	1.3~1.7	1~2	2以上	吹 放 し 1.6 以上 凸部処理 0.5 以内	—	● タイルガン 口径:6.5~10mm 圧力:392~588kPa(4~6kgf/cm ²)
	清 水	0~5	—					
(3) 凸部処理	プラスチックローラーに塗料用シンナーAを付けて凸部を押さえる。							—
4 上塗り	クリーンマイルドウレタン 主 剤	100	0.25~0.35	2	3以上	7日以内	—	24以上
	クリーンマイルドウレタン 硬化剤	11.1						
	塗料用シンナーA	※14 0~20	—	—	—	—	—	

●外壁、防水形複層塗材E仕上げ(弾性)

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間(hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> ● 下地はよく乾燥させ、含水率10%以下・pH10以下としてください。 ● 付着物は完全に除去し、傷・不陸・目違いなどは補修してください。 							—
1 下塗り	水性ミラクシーラーエコクリヤー	既調合	0.10~0.13	1	—	2以上	—	● ローラー ● 刷毛 ● エアレススプレーガン 吐出量:600~1000mℓ/分 パターン幅:25~30cm
2 主材塗り(1) (基層塗り)	レナフレンド主材	100	1.5~1.8	1	—	3以上	—	● リンガン 口径:4~6mm 圧力:490~686kPa(5~7kgf/cm ²)
	清 水	3~5	—					
3 主材塗り(2) (模様塗り)	レナフレンド主材	100	0.7~0.9	1	—	吹 放 し 1.8 以上 凸部処理 0.5 以内	—	● タイルガン 口径:6.5~8mm 圧力:392~588kPa(4~6kgf/cm ²)
	清 水	0~2	—					
(4) 凸部処理	プラスチックローラーに塗料用シンナーAを付けて凸部を押さえる。							—
5 上塗り	クリーンマイルドウレタン 主 剤	100	0.25~0.35	2	3以上	7日以内	—	24以上
	クリーンマイルドウレタン 弾性硬化剤	18.5						
	塗料用シンナーA	※14 0~20	—	—	—	—	—	

●鉄部

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間(hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> ● 被塗装表面のミルスケール、ほこり、油脂分、水分などを除去し、清浄にしてください。 ● さびや粉化物はサンドペーパーやディスクサンダーなどで十分に除去してください。 							—
1 下塗り	SKマイルドボーセイ 主 剤	100	0.14~0.17	1	—	6以上	14日以内	—
	SKマイルドボーセイ 硬化剤	25						
	塗料用シンナーA	0~10	※7					
2 上塗り	クリーンマイルドウレタン 主 剤	100	0.22~0.26	2	3以上	7日以内	—	24以上
	クリーンマイルドウレタン 硬化剤	11.1						
	塗料用シンナーA	※14 0~20	—					

●この他下塗材として、★スーパーボーセイエポ(16kgセット)、または一液タイプの★マイルドサビガード(16kg石油缶)、★エスケーエポサビα(16kg石油缶)もご使用いただけます。

改装下地 / 施工仕様例

●外壁の改装（上塗りの塗り替えの場合）

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間(hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
※2 下地調整	<ul style="list-style-type: none"> 旧塗膜に脆弱層がある場合はサンダー及び皮スキ、ケレン棒などを用いて除去し、ミラクファンドKC-1000で段差修正後、パターンの復元を行ってください。 高圧水洗(5~15MPa)にて旧塗膜に付着している塵、ほこり、汚れなどを除去してください。 							—
15, 16, 17, 18 1 上塗り	クリーンマイルドウレタン 主 剤	100	0.25~0.35	2	3以上 7日以内	—	24以上	<ul style="list-style-type: none"> ローラー ● 刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:800~1000ml/分 パターン幅:25~30cm
	クリーンマイルドウレタン 硬化剤	11.1						
	塗料用シンナーA	※14 0~20	—					

●下地の種類(形状)により所要量が変わることがあります。

●外壁の改装（薄付け仕上げ：下地のパターンを生かす）

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間(hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
※2 下地調整	<ul style="list-style-type: none"> 旧塗膜に脆弱層がある場合はサンダー及び皮スキ、ケレン棒などを用いて除去し、ミラクファンドKC-1000で段差修正後、パターンの復元を行ってください。 なお、セメント系の下地調整塗材(ミラクファンドKC-1000、ミラクファンドKC-2000、ミラクファンドKC-3000など)を用いる場合は、下地調整後、マイルドシーラー-EPOなどの下塗材を塗付してください。 高圧水洗(5~15MPa)にて旧塗膜に付着している塵、ほこり、汚れなどを除去してください。 							—
12 1 下塗り	水性ソフトサーフSG	100	0.30~1.0	1~2	3以上	16以上	—	<ul style="list-style-type: none"> ローラー ● 刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:800~1000ml/分 パターン幅:25~30cm リジガン/口径:4~5mm 圧力:392~588kPa(4~5kgf/cm²)
	清 水	5~8	—					
15, 16, 17, 18 2 上塗り	クリーンマイルドウレタン 主 剤	100	0.25~0.35	2	3以上 7日以内	—	24以上	
	クリーンマイルドウレタン 硬化剤	11.1						
	塗料用シンナーA	※14 0~20	—					

●水性ソフトサーフSGの薄塗り仕上げの場合、使用する塗装器具により、塗回数や所要量が異なります。

ウールローラーは、0.30~0.6kg/m²を1~2回塗り、SPローラー(マステックローラー細目)は、0.5~0.8kg/m²を1回塗り、刷毛は、0.30~0.8kg/m²を1~2回塗り、エアレススプレーガンは、0.30~1.0kg/m²を1回塗り、リジガンは、0.5~1.0kg/m²を1回塗りしてください。

●外壁の改装（厚付け仕上げ：下地のパターンを変える）

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間(hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
※2 下地調整	<ul style="list-style-type: none"> 旧塗膜に脆弱層がある場合はサンダー及び皮スキ、ケレン棒などを用いて除去し、ミラクファンドKC-1000で段差修正後、パターンの復元を行ってください。 なお、セメント系の下地調整塗材(ミラクファンドKC-1000、ミラクファンドKC-2000、ミラクファンドKC-3000など)を用いる場合は、下地調整後、マイルドシーラー-EPOなどの下塗材を塗付してください。 高圧水洗(5~15MPa)にて旧塗膜に付着している塵、ほこり、汚れなどを除去してください。 							—
12 1 下塗り	水性ソフトサーフSG	100	0.8~1.5	1~2	3以上	16以上	—	<ul style="list-style-type: none"> M-9ローラー (マステックローラー)
	清 水	2~5	—					
15, 16, 17, 18 2 上塗り	クリーンマイルドウレタン 主 剤	100	0.25~0.35	2	3以上 7日以内	—	24以上	
	クリーンマイルドウレタン 硬化剤	11.1						
	塗料用シンナーA	※14 0~20	—					

●外壁の改装（高防水仕上げ）

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間(hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
※2 下地調整	<ul style="list-style-type: none"> 旧塗膜に脆弱層がある場合はサンダー及び皮スキ、ケレン棒などを用いて除去し、ミラクファンドKC-1000で段差修正後、パターンの復元を行ってください。 なお、セメント系の下地調整塗材(ミラクファンドKC-1000、ミラクファンドKC-2000、ミラクファンドKC-3000など)を用いる場合は、下地調整後、マイルドシーラー-EPOなどの下塗材を塗付してください。 高圧水洗(5~15MPa)にて旧塗膜に付着している塵、ほこり、汚れなどを除去してください。 							—
1 下塗り	水性弾性サーフエポ	100	2.2~2.6	2	6以上	16以上	—	<ul style="list-style-type: none"> M-9ローラー (マステックローラー)
	清 水	3~5	—					
15, 16, 17, 18 2 上塗り	クリーンマイルドウレタン 主 剤	100	0.25~0.35	2	3以上 7日以内	—	24以上	
	クリーンマイルドウレタン 弾性硬化剤	18.5						
	塗料用シンナーA	※14 0~20	—					

●水性弾性サーフエポには、この他厚付け仕上げ、薄付け仕上げがあります。詳しくは、水性弾性サーフエポパンフレットをご参照ください。

改装下地 / 施工仕様例

●鉄部の改装

(23℃)

工 程	材 料	調 合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間 隔 時 間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
下地調整	<ul style="list-style-type: none"> ● 被塗装表面のほこり、油脂分、水分などを除去し、清浄にしてください。 ● さびや浮き塗膜、粉化物はサンドペーパーやディスクサンダーなどで十分に除去してください。 							—
1 下塗り	※8,9 SKマイルドボーセイ 主 剤	100	0.14~0.17	1	—	6以上 14日以内	—	<ul style="list-style-type: none"> ● ローラー ● 刷毛 ● エアレススプレーガン 吐出量:600~1000mℓ/分 パターン幅:25~30cm
	SKマイルドボーセイ 硬化剤	25						
	塗料用シンナーA	※7 0~10	—					
2 上塗り	※13,15,16,17,18 クリーンマイルドウレタン 主 剤	100	0.22~0.26	2	3以上 7日以内	—	24以上	<ul style="list-style-type: none"> ● ローラー ● 刷毛 ● エアレススプレーガン 吐出量:600~1000mℓ/分 パターン幅:25~30cm
	グリーンマイルドウレタン 硬化剤	11.1						
	塗料用シンナーA	※14 0~20	—					

●この他下塗材として、★スーパーボーセイエポ(16kgセット)、または一液タイプの★マイルドサビガード(16kg石油缶)、★エスケーエボサビα(16kg石油缶)もご使用いただけます。

●アルミニウム・ステンレスの改装

(23℃)

工 程	材 料	調 合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間 隔 時 間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
下地調整	<ul style="list-style-type: none"> ● 表面汚染物質を除去してください。 ① サンドペーパーP240~P400で旧塗膜を均一に研磨し、目荒しを行うと同時に、孔中部のさびを除去してください。 ② 中性洗剤・溶剤などで洗浄し、ほこりなどを除去してください。 ③ 処理液が残らないよう十分に洗浄し、下地を乾燥させてください。 							—
1 下塗り	SK#1000プライマー 主 剤	100	0.14~0.17	1	—	4以上 7日以内	—	<ul style="list-style-type: none"> ● ローラー ● 刷毛 ● エアレススプレーガン 吐出量:600~1000mℓ/分 パターン幅:25~30cm
	SK#1000プライマー 硬化剤	25						
	SK#1000プライマー シンナー	0~40	—					
2 上塗り	※15,16,17,18 クリーンマイルドウレタン 主 剤	100	0.22~0.26	2	3以上 7日以内	—	24以上	<ul style="list-style-type: none"> ● ローラー ● 刷毛 ● エアレススプレーガン 吐出量:600~1000mℓ/分 パターン幅:25~30cm
	グリーンマイルドウレタン 硬化剤	11.1						
	塗料用シンナーA	※14 0~20	—					

●この他下塗材として、★SKマイルドボーセイ(16kgセット)、または★マイルドサビガード(16kg石油缶)、★エスケーエボサビα(16kg石油缶)もご使用いただけます。

●硬質塩ビ・FRPの改装

(23℃)

工 程	材 料	調 合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間 隔 時 間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
下地調整	<ul style="list-style-type: none"> ● 表面汚染物質を除去してください。 ① サンドペーパーP240~P400で目荒ししてください。 ② 中性洗剤・溶剤などで洗浄し、ほこりなどを除去してください。 ③ 処理液が残らないよう十分に洗浄し、下地を乾燥させてください。 							—
1 上塗り	※15,16,17,18 クリーンマイルドウレタン 主 剤	100	0.22~0.26	2	3以上 7日以内	—	24以上	<ul style="list-style-type: none"> ● ローラー ● 刷毛 ● エアレススプレーガン 吐出量:600~1000mℓ/分 パターン幅:25~30cm
	グリーンマイルドウレタン 硬化剤	11.1						
	塗料用シンナーA	※14 0~20	—					

●FRP製受水槽の塗装には遮光性機能をもつ★ミラクプライマーSR(15kgセット)を下塗りとして用いることもできます。これにより、受水槽内の藻発生を抑制する効果を発揮します。詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせください。

●木部の改装

(23℃)

工 程	材 料	調 合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間 隔 時 間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
注)1,2 下地調整	<ul style="list-style-type: none"> ● 汚れ、付着物などをサンドペーパーで除去してください。 ● やには予めラックニスなどで処理してください。 							—
(1) 下塗り	※9 SK木部下塗材	100	0.13~0.20	1~2	3以上 7日以内	3以上 7日以内	—	● ローラー ● 刷毛
	塗料用シンナーA	0~10						
2 上塗り	※15,16,17,18 クリーンマイルドウレタン 主 剤	100	0.22~0.26	2	3以上 7日以内	—	24以上	<ul style="list-style-type: none"> ● ローラー ● 刷毛 ● エアレススプレーガン 吐出量:600~1000mℓ/分 パターン幅:25~30cm
	グリーンマイルドウレタン 弾性硬化剤	18.5						
	塗料用シンナーA	※14 0~20	—					

●二回目以降の塗り替えは、旧塗膜のケレン除去が必要です。

●既存塗膜の劣化が軽微な場合は、下塗りを省略することが可能です。下塗り後は、必要に応じてサンドペーパー等で研磨処理を行ってください。

注)1. 新木の場合の乾燥程度は18%以下としてください。また節止めには必ずラックニスを塗装してください。

注)2. 内装で合成樹脂調合ペイント、フタル酸樹脂エナメルなどの塗り替えの際は、必ず目荒しを行ってください。下地処理が不十分な場合、塗膜のちぢみ、剥がれの原因となります。詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせください。

- ※ 1. ALCパネル、多孔質下地、粗面、その他、下地に問題がある場合には、SFアンダー(20kg石油缶)、カケンフィラー(粉体/20kg袋、混和液/10kg石油缶)、またはミラクファンD-KC-1000(粉体/20kg袋、混和液/5kgポリ容器)などで下地調整を行ってください。なお、改装工事には、ミラクファンD各種をご使用ください。
- ※ 2. 下地の状態によりシーラーや目荒しが必要な場合があります。詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせください。
- ※ 3. 下地の種類によっては、下塗材の選定が必要になります。特に押出成形セメント板、GRC板、PC部材などには、下塗材として★エスケーハイブリッドシーラーEPO(クリヤー・ホワイト、15kgセット)、または★マイルドシーラーEPO(クリヤー・ホワイト、14kgセット)、★ミラクシーラーEPO(15kgセット)をご使用ください。なお、軽量PC部材への施工は避けてください。
- ※ 4. その他下塗材として、★マイルドシーラーEPOホワイト(14kgセット)もご使用いただけます。
- ※ 5. この他下塗材として、白色タイプの水性ミラクシーラーエコホワイト(15kg石油缶)、溶剤タイプの★EXシーラー(15kg石油缶)もご使用いただけます。
- ※ 6. 水性ミラクシーラーEPOは、他の水性塗料が混ざるとゲル化することがあります。他の材料との混合や、刷毛、ローラー、エアレスなどの塗装器具の共用は避けると共に、同じ洗剤水での塗装器具の洗浄は行わないでください。
- ※ 7. ★塗料用シンナーA(16kg石油缶)での希釈率は、主剤100に対してスプレー塗り時で「5~10」、刷毛・ローラー塗り時で「0~10」となります。
- ※ 8. 鉄部の下塗材として、一液タイプの★マイルドサビガード(16kg石油缶)、★エスケーエボサビα(16kg石油缶)もご使用いただけます。この際、スプレーダストや製品の付着した布、紙、ローラーなどが積み重なると自然発火する恐れがあるため、廃棄するまで水に漬けるなどして安全に保管してください。
- ※ 9. ★SKマイルドボーゼイや★SK木部下塗材、★グリーンマイルドウレタンを使用した塗装器具は★ラッカーシンナーなどで洗浄してください。
- ※ 10. 複数塗材RE仕上げの場合は、主材塗りにレナキャスト主材(20.6kgセット)をご使用ください。また、防火材料の指定がある場合には、主材塗りにセラミタイト主材(20kg石油缶)、上塗りに★グリーンマイルドウレタン(15kgセット)をご使用ください。
- ※ 11. 灯油など他の材料の使用は絶対に避けてください。
- ※ 12. 旧塗膜が高弾性の場合、水性ソフトサーフSGIは適用できないことがあります。詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせください。
- ※ 13. 予め粒度の粗いさび止め塗料が塗付されており、当社下塗材を使用しない場合は、光沢が落ちることがあります。その場合、シンナーの希釈率を少なくして塗付してください。
- ※ 14. ★塗料用シンナーA(16kg石油缶)での希釈率は、主剤100に対してスプレー塗り時で「10~20」、刷毛・ローラー塗り時で「0~10」となります。
- ※ 15. ★塗料用シンナーAで希釈する製品については、★塗料用シンナーAの他、★塗料用シンナーXもご使用いただけます。ただし、その他の材料の使用は避けてください。
- ※ 16. 希釈しすぎると光沢に影響を与えますので、シンナー希釈率及び所要量を厳守してください。
- ※ 17. 材料は、開缶後十分に攪拌してから、必ず計量器を利用し、主剤と硬化剤の混合比率を厳守して調合してください。異なった比率で調合すると硬化不良の原因となります。
- ※ 18. 主剤と硬化剤を混合し、よく攪拌した後、希釈を行ってください。この際、材料を希釈しすぎると、隠ぺい力不足やたれ、透けなどの仕上り不良、色別れ等の原因となりますので、注意してください。
- ※ 19. 上塗材の希釈率は、試験塗りなどにより決定し、それ以降は同一の希釈率にて使用してください。なお、希釈率は色目及び施工時の気温により変化することがありますのでご了承ください。
- ※ 20. 濃色や原色に近い色彩は、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類などの異状が発生する可能性がある部位への施工は避けてください。
- ※ 21. ベンチやジャングルジムなどの遊具、テーブル、カウンター、棚、床など、物が常に置かれる箇所への塗装を避けてください。また、アルコールや油脂分(人の手など)が付着すると塗膜が軟化し、色移りすることがありますので、ご注意ください。
- ※ 22. ゴムやプラスチック等、可塑性を含む部位に直接触れると軟化や剥離を生じることがありますので、そのような場所への塗装は避けてください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
- ※ 23. 異なる色目で塗り重ねる場合、2回目の上塗りが1回目の上塗りを溶かし、ラインや帯がにじむ場合がありますのでご注意ください。
- ※ 24. 上塗りにイエロー、レッド、ブルー、グリーン系など彩度の高い色目を塗装する場合は、隠ぺい性を高めるため、予め隠ぺい性の良い共色を塗装してください。
- ※ 25. 艶調整品(艶有り以外の7分艶、5分艶、3分艶など)は、被塗物の形状、膜厚や色目、塗回数、希釈率の差などにより、実際の艶と若干異なって見える場合があります。また濃い色目になると、刷毛・ローラー塗装時に塗継ぎ箇所等で艶むらを生じやすい傾向があります。試し塗りの上、本施工に入ってください。
- ※ 26. 既存塗膜の剥離箇所は、既存のパターンに合うように既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- ※ 27. 弾性系塗材や複数仕上げ塗材の仕様で軽量モルタル、ALCパネル、高断熱型窯業系サイディング及び発泡ウレタンなどを使用した高断熱型外壁に塗装する場合は、蓄熱されたり、水の影響や下地の状態、塗装時の環境など、いくつかの条件が重なることでパネルの変形や塗膜の影れ、剥がれなどを生じることがあります。ご採用にあたっては、最寄りの各営業所へお問い合わせください。
- ※ 28. 改装工事に溶剤系下塗材をご使用の場合は、溶剤などの影響により旧塗膜を傷め、影れ、ちぢみなどの異状が発生することがあります。試し塗りにより確認の上、本施工に入ってください。
- ※ 29. 防かび、防藻性は繁殖の抑制の効果を示すものです。施工部位の構造や形状、環境条件などにより、防かび、防藻性が十分に発揮されない場合があります。
- ※ 30. かびや藻が付着している場合は、SKカビ除去剤#5(塩素系)にて拭き取るなど、適切な下地処理をしてから塗装してください。
- ※ 31. 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。
- ※ 32. 塗り重ね時間は環境(温度、湿度、換気、風通しやすさ)や膜厚によって変わります。
- ※ 33. 低温又は高湿度時には、乾燥が遅くなりますのでご注意ください。
- ※ 34. 補修塗りが必要な場合がありますので、補修用に使用塗料の控えを必ずとっておき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- ※ 35. 補修塗りの際、仕上がり肌の違いにより、色目に若干の差を生じる場合がありますので、部分的に仕上がり性を確認した上で希釈量等を決定してください。
- ※ 36. 刷毛で補修塗りを行う際、スプレー塗りやローラー塗りとは仕上がり肌の違いにより、色目に若干の差を生じることがあります。
- ※ 37. シーリング材の上へ施工する場合、シーリング材の種類、材齢により塗膜が密着しないことや汚染することがあります。
- ※ 38. 間隙が広いなど、大きな動きが予想されるシーリング打設部への塗装は、塗膜がひび割れる可能性がありますので、なるべく避けてください。
- ※ 39. 陶磁器タイル洗浄用の酸が塗膜面に付着すると、変色や溶解などの異状を生じることがありますので、これを防止するため、予め塗膜面の養生を行ってください。
- ※ 40. 塗膜の影れ、剥がれ、白化の発生につながる場合がありますので、著しく結露が生じるような場所での使用は避けてください。
- ※ 41. 最終養生の時間内に、降雨、結露などがあれば、塗膜の影れ、剥がれ、白化の発生、艶引けなどにつながる場合がありますので、塗装を避けるか強制換気などで表面の水分を除去してください。
- ※ 42. 強風時、または降雨、降雪のおそれがある場合、及び気温5℃以下、湿度85%以上での施工は原則的に避けてください。気温5℃以下での施工が要求される場合は、採暖及び採暖のための養生により雰囲気温度、被塗面温度を5℃以上にしてください。冬期においては、施工条件が特に厳しくなる場合があるため、事前に関係者と十分な打ち合わせを行ってください。
- ※ 43. 材料は使用前に内容物が均一になるように十分に攪拌し、開缶後は速やかに一度に使い切ってください。また材料を保管する場合は、無希釈の材料をしっかりと密栓してから直射日光を避けた冷暗所に保管し、できるだけ早くに使い切ってください。
- ※ 44. 性能に支障をきたす可能性がありますので、当社指定以外の材料を混ぜないでください。

<鉄部における注意事項>

- 素地調整は、さび止め塗装工事の耐久性を高める重要な工程となりますので、入念な処理を行ってください。
- さびの著しい部位は、クレン後、補修塗りを行ってください。また、作業環境や形状によって、さびを完全に除去できない部位には、予め★サビフックス(18kgセット、4.5kgセット)で補修塗りを行ってください。
- さび止め塗料の防食性は膜厚に比例します。R部やエッジ部など、膜厚が得られにくい箇所は、増し塗りするなどして、十分な膜厚を確保してください。
- 工程間隔時間は厳守してください。工程間隔時間を過ぎた場合は、目荒しを行った後に塗装してください。

施工上の注意：超低汚染機能の発揮条件

- ★グリーンマイルドウレタンは、主剤と硬化剤を指定の比率で調合し、電動ミキサーなどで十分に攪拌混合(2分以上)してご使用ください。主剤と硬化剤の混合比率が不適切であったり、他の材料と混合したり、硬化剤を投入しなかった場合、低汚染機能が発揮されませんので、必ずこれを厳守してください。また材料調合後は、缶に表示されている可使用時間内に使い切るようにしてください。なお、塗料の温度は保管場所により大きく影響を受けますので、ご注意ください。
- 上塗材は所定の乾燥時間(最終養生時間)を厳守してください。施工後、塗膜が硬化するまでの時間内に降雨などにより、塗膜表面が長時間水分がかかった状態になりますと、所定の低汚染機能が発揮されない場合があります。低汚染機能は硬化後の塗膜で発揮されるため、乾燥過程で降雨などが予想される場合は、シート養生を行うなどして、塗膜表面に雨が当たらないよう、所定の乾燥時間を厳守してください。
- 施工当日に降雨、降雪、結露が予想される場合は、施工を中止してください。また、気象の急変などにより、施工中、施工後に降雨が生じた場合はシート養生などを行い、塗膜面に直接雨がつかないように、対策を講じてください。
- 施工部位により、低汚染性が十分に発揮されないケースがあります。特に傾斜壁の下端部、笠木などの水切りがない部位、窓廻りで水切りが不十分な場合、汚れが溜まりやすい目地の下部、雨がつかからない部位などは注意が必要です。
- 鉄さび・シーリング材などが原因の汚染物質に対しては、低汚染機能が十分に発揮されません。各シーリング材は可塑性(油分)を含まないノンブリードシーリングをご使用ください。
- 上塗材はむらなく均一に塗付してください。低汚染機能を発揮するためには、塗付量の確保が重要な事項です。特に凹部に塗り残しができないよう、注意してください。また、タッチアップに使用する上塗材の主剤、硬化剤は予め良く振り、沈降分離していないものを必ず計量器を用いて計量し、電動ミキサーなどで十分に攪拌(2分以上)したものを使用し、製品容器に記載の可使用時間以内に使い切るようにしてください。
- その他、詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。

